

8-5 施設・設備等

A 群・大学・学部等の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性

青山キャンパスについては、1 棟ないし 2 棟を除いて、教室、研究室の老朽化が著しく、大学の平均的な施設水準を明らかに下まわっている。それだけでなく、空調設備、視聴覚機材も全体的に老朽化している。学部専用の校舎、教室、あるいは学部が優先権を持つ校舎・教室がないので、教室の施設・設備の整備について責任をもって点検・対策を講じるインセンティブが弱いことが原因であろう。新図書館建設よりも教室・研究室の新築・増設を急ぐべきであろう。

本学部では、教育サービスの質的改善に関する問題意識を学部スタッフ全員で共有するとともに、

具体的施策の検討と実施を行っている。具体事例として、2006年度までに会計部門における400名を超える講義の全廃、あるいは学生のゼミ加入率向上を図るため、従来1ゼミ平均12人程度であった水準を15名までに引き上げる等の改善を果たした。また、大教室を利用した**マスプロ教育の比重を可能な限り減じる方針も打ち出している**。実際、昼間部の相模原キャンパス及び青山キャンパスにおける収容人員51～100の教室の総授業時数に占める使用率はいずれも50%を超え、受講生数の適正化に向けた一定の成果を実現している。一方、相模原キャンパスにおける500名を越える大規模講義の開講はない（「大学基礎データ」表40）。

また、ITを活用した教育サービスの質的向上も昨今大きな社会的要請となっている。その具体的施策として、本学部では2003年度より**独自の教学支援システムaloha（aoyama live office hours assistance）を運用することで、授業時間外における即時性のある学生からの質疑対応、ゼミ等における論文指導の効率化などを実現している**。ここでalohaとは、主として授業時間外における機動的な学習支援環境を構築するために、インターネットを利用して以下に掲げるサービスを提供するシステムである。

- ・自律的な利用者登録機能
- ・ユーザビリティの高い講義・ゼミ用ポータルページ設置
- ・シラバス作成支援及び公開機能
- ・履修科目に係わる出席状況や小テスト成績履歴管理
- ・バーコードリーダーによる出席情報取得機能
- ・連絡事項のリアルタイム通知・確認機能
- ・教材資料配布機能
- ・レポート提出機能
- ・授業内容に関する質疑応答用会議室設置
- ・モバイルアクセス機能
- ・統合型論文執筆支援環境
- ・ブログ機能

aloha運用においては、毎年度、学部スタッフからの要望を集約してシステムの改善・見直しを継続的に行っている。例えば、2005年度にはバーコードリーダーを利用した出欠管理、ブログ機能の追加、また大幅なデザイン変更などを行った。